

報道関係者各位

株式会社ディスコ

7月1日時点の就職状況調査（確報版）

～キャリアス就活2018 学生モニター調査結果（2017年7月）～

株式会社ディスコ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：新留正朗）は、2018年3月卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）を対象に、7月1日時点の就職活動に関する調査を行いました。（調査時期：2017年7月1日～5日、回答数：1,238人）

1. 7月1日現在の内定状況

- 内定率は83.2%。前年同期実績（79.8%）を3.4ポイント上回りました。
- 就職継続者は内定あり（17.0%）、内定なし（16.8%）を合わせて33.8%です。

2. エントリー状況、セミナー参加、選考試験の受験状況

- エントリー社数の平均は39.6社。前年（45.8社）より6.2社少なくなりました。
- 筆記試験は11.3社、面接試験は8.9社。いずれも前年同期より微減しています。

3. 就活継続者の今後の動向

- 今後の方針は「絞って活動する」が過半数（53.2%）です。

4. 就活継続者が就活を終了したいと思う時期と就活への焦り

- 就職活動を終えたい時期は、4割強が7月中でした。就職活動「焦っている」は56.8%でした。

5. 就職決定企業の属性（従業員規模、業界）

- 就職決定企業の従業員規模は、1,000人以上の大手企業が約7割（68.5%）を占めています。

6. 就職決定企業に興味を持ち始めた時期

- 2月以前の合計が6割強（61.6%）。前年より早まりました。

7. 就職決定企業で働きたいと具体的に思ったタイミング

- 「インターンシップ参加時」が19.5%で前年調査（16.3%）より3.2ポイント増加しました。

8. ここまでの就職活動を振り返って

- 「業界研究や企業研究に十分な時間をとれた」は50.9%で前年（43.8%）を上回っています。
- 「企業を絞り込んで効率的に選考を受けることができた」は59.8%です。

9. 後輩にアドバイスしたい「就活解禁前にやっておくべきこと」

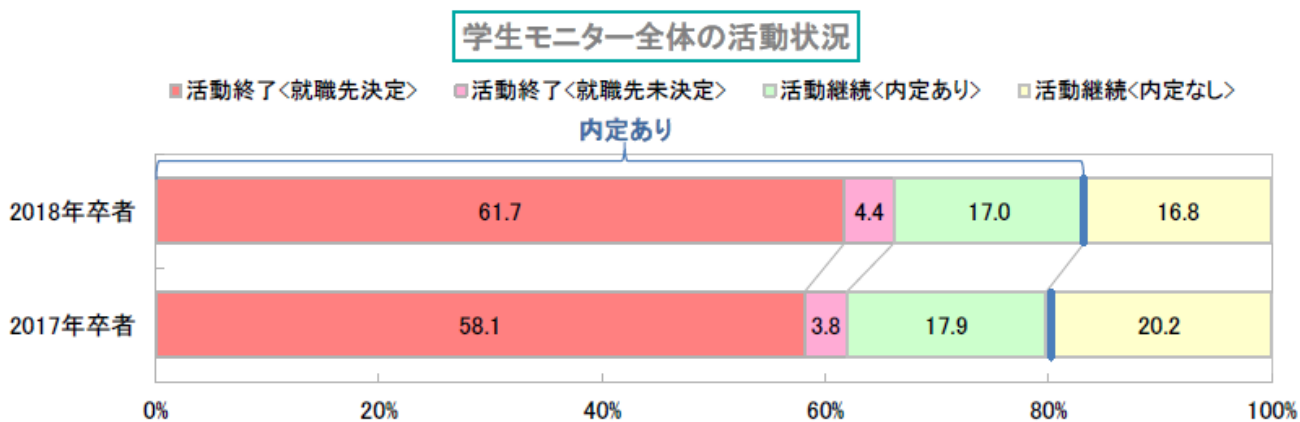
- 「自己分析」（68.8%）、「インターンシップ」（64.8%）、業界研究（55.2%）の順となりました。

【調査概要】

- 調査対象：2018年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,238人（文系男子413人、文系女子344人、理系男子313人、理系女子168人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2017年7月1日～5日
- サンプリング：キャリアス就活2018学生モニター（2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」）

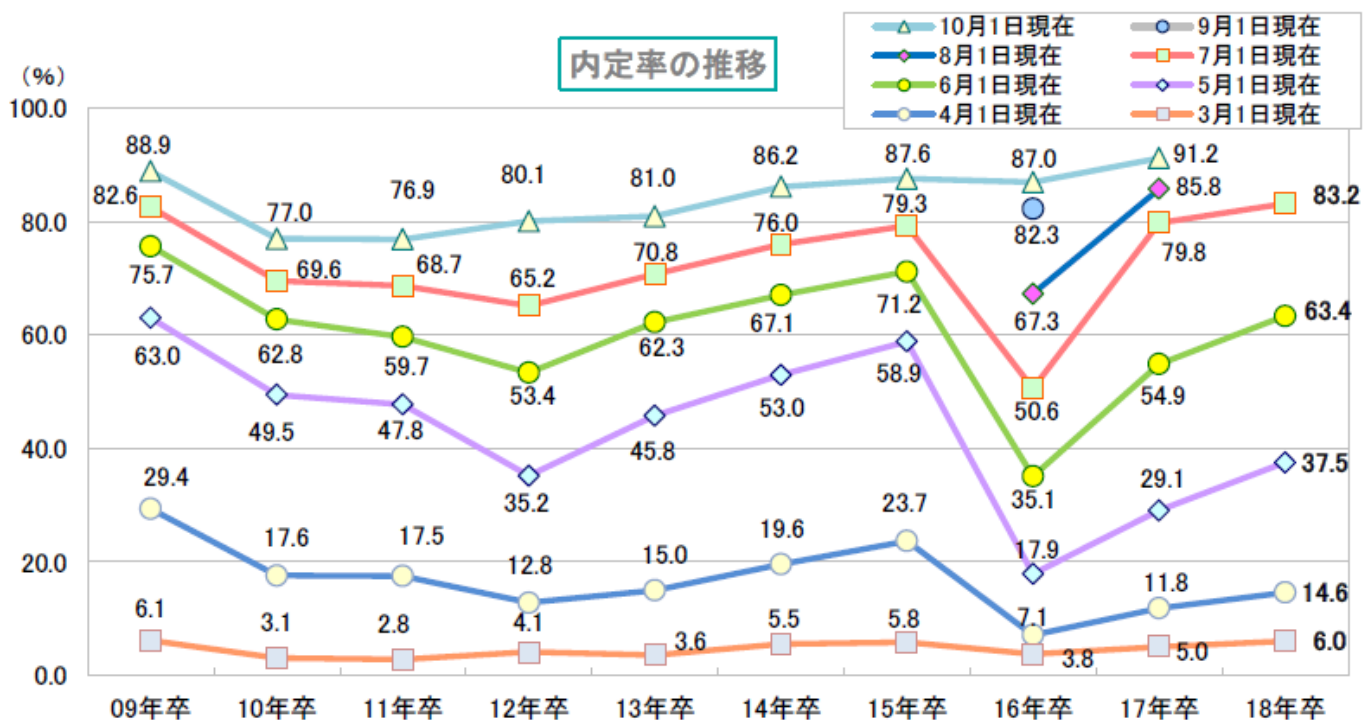
詳細レポートはこちら：<http://www.disc.co.jp/uploads/2017/07/18monitor201707.pdf>

図表 1. 学生モニター全体の活動状況



資料出所：キャリアス就活 2018 学生モニター調査結果（2017年7月発行）

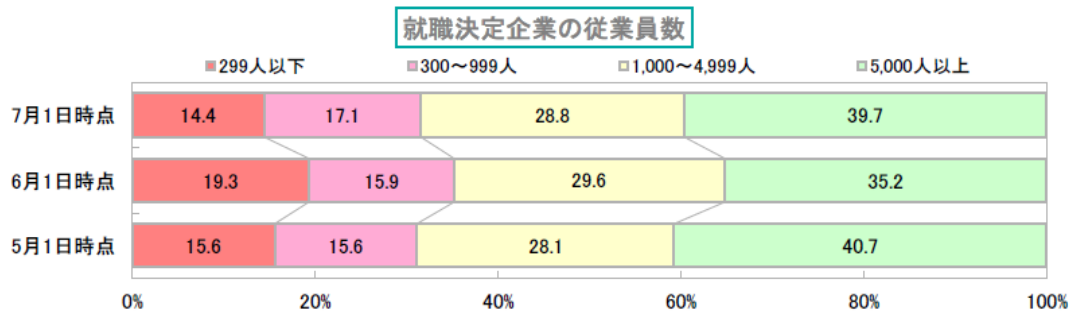
図表 2. 内定率の推移



※15年卒までは選考解禁は4月、16年卒は8月、17卒・18卒は6月 ※15年卒以前は8月、9月のデータはなし

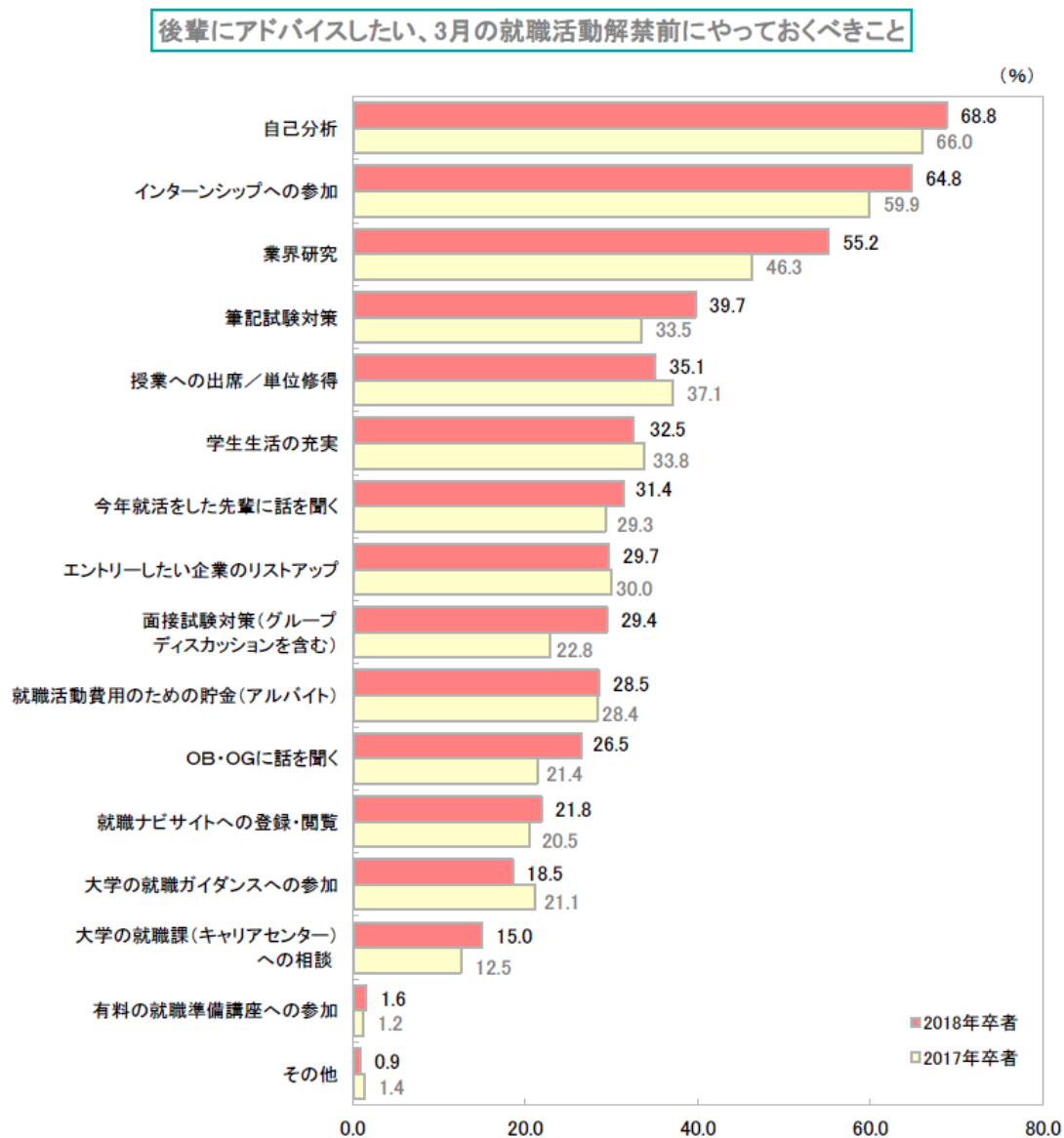
資料出所：キャリアス就活 2018 学生モニター調査結果（2017年7月発行）

図表3. 就職決定企業の従業員数



資料出所：キャリアス就活 2018 学生モニター調査結果（2017年7月発行）

図表4. 後輩にアドバイスしたい「就活解禁前にやっておくべきこと」



資料出所：キャリアス就活 2018 学生モニター調査結果（2017年7月発行）